

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	船木 恵一	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

<b>■授業の目的と概要(Course purpose/outline)</b>			
<p>最終学年の専門演習では、大学における学修生活の集大成として、学生の個人研究～ゼミ論文執筆と、進路に関する活動をベースとしながら、演習として時事的なトピックスや、社会人になるにあたって重要テーマの学習に取り組みます。学習を通して、論理的思考力・表現力・コミュニケーション力の向上を図るとともに、主体的な行動、生涯学習や自己啓発の重要性を理解してゆきます。</p>			

<b>■授業形態・授業の方法(Class form)</b>	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	<p>対面による演習を行います。テーマ学習は原則、アクティブラーニング方式で、①ディスカッション、②グループワーク、③サーチ、④プレゼンテーション、⑤レポーティングなどを行います。論文執筆や就活などの進捗報告と指導を適宜行います。後期の到達目標として、ゼミ論文の100%完成を目指します</p>

<b>■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	個人学習状況アップデート～後期演習活動及び日程の確認	単位取得状況及び卒業要件の確認、前期行動計画の作成と提出 個人面談日程調整 ⑤	<input type="checkbox"/>
第2回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定状況、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します ⑤	<input type="checkbox"/>
第3回	テーマ学習：入社前に考えておくべきこと その一	身に付けたい(向上させたい)スキルとは 各自のスキルアップテーマをディスカッションし、発表する ①、②、④	<input type="checkbox"/>
第4回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定状況、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します ⑤	<input type="checkbox"/>
第5回	テーマ学習：入社前に考えておくべきこと その二	学生最後の冬休み・春休みの過ごし方、悔いを残さない学生最後の数か月の過ごし方 ①、②、④	<input type="checkbox"/>
第6回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定状況、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します ⑤	<input type="checkbox"/>
第7回	ゼミ論文中間チェック	75%執筆原稿完成。11,000～12,000字の提出(全員) ⑤	<input type="checkbox"/>
第8回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定状況、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します ⑤	<input type="checkbox"/>
第9回	テーマ学習：入社前に考えておくべきこと その三	人生100年時代の人生設計、20年後、40年後、60年後の社会と自分のついて考える ①、②、④、	<input type="checkbox"/>
第10回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定状況、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します ⑤	<input type="checkbox"/>
第11回	テーマ学習：入社前に考えておくべきこと その四	最初の給与と賞与の使い道、社会人初年度に必要なもの、新生活の準備とは? ①、②、④	<input type="checkbox"/>
第12回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定状況、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します ⑤	<input type="checkbox"/>
第13回	ゼミ論文最終チェック	100%執筆原稿完成。15,000以上の提出(全員) 演習発表大会の準備(ゼミ代表の選出) ⑤	<input type="checkbox"/>
第14回	演習発表大会への参加(当日)	専門演習発表大会にて、研修発表の報告を行う ③	<input type="checkbox"/>
第15回	演習最終総括	4年間の学習振り返りと卒業準備(学修満足度調査)	<input type="checkbox"/>

<b>■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)</b>	
<p>個人研究～ゼミ論文の執筆は、授業時間外の時間管理が重要となります。調査や執筆として毎週5時間程度の時間を割くように配分してください。テーマ学習では予習や準備に2時間程度、復習や関連する知識を自ら学習するなどの活動を2時間程度行ってください。</p>	

**■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)**

対面による個人面談やオンライン面談を通じて、個人研究～ゼミ論文の指導を実施します。その他テーマ学習における資料や課題等は、LMSを利用します。課題は添削や採点をして戻します。質問はLMSのチャット及びメールにて随時受け付けます。またオフィスアワーを利用しての面談も可能です。

**■授業の到達目標と評価基準(Course goals)**

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	ゼミを通して、自らの社会貢献性について、専門知識や技能を深める領域を探求し、主体性を持って地域社会の活性化や発展に貢献できる。

**■成績評価(Evaluation method)**

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

**授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)**

授業内試験とは出席点ではありません。テーマ学習への参加態度、積極性、主体的な学び、予習復習への取組を総合的に判断します。その他評価は、ゼミ論文の到達目標に対する達成度で判断します。

**■テキスト(Textbooks)**

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ありません。必要に応じて講師が用意します。	
2		
3		
4		
5		

**■参考図書(references books)**

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		